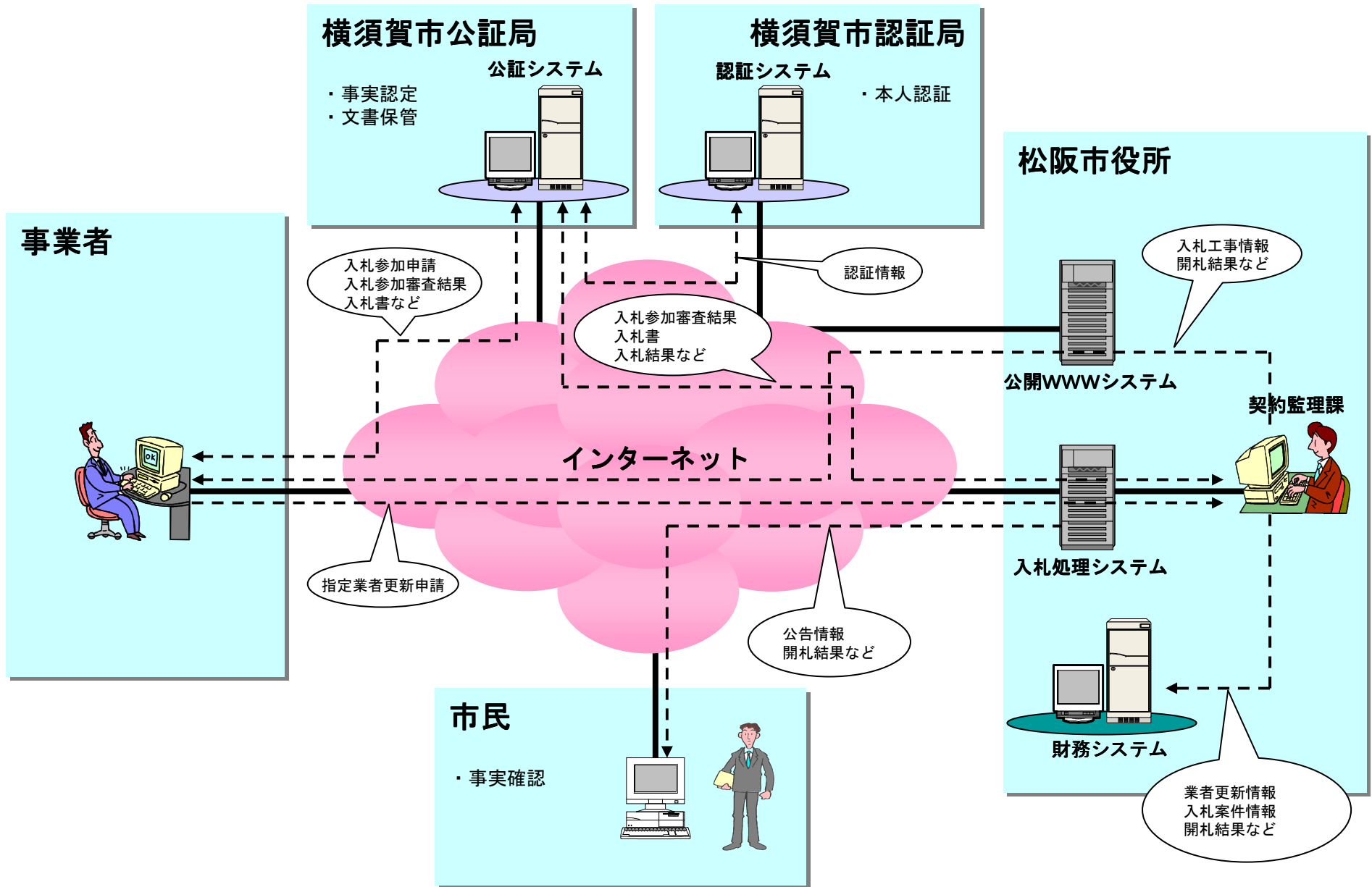
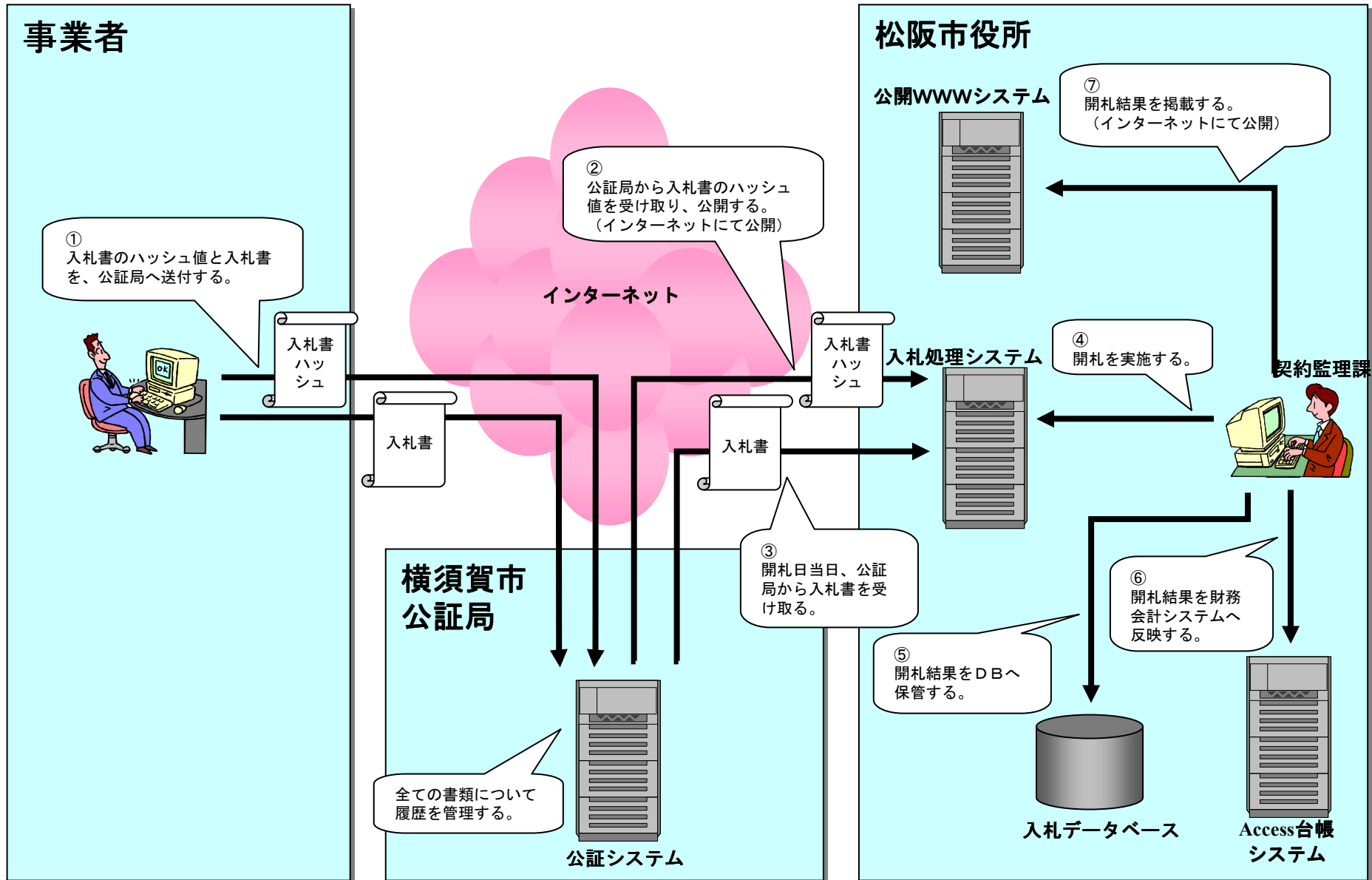


参考1 電子入札システム全体イメージ



参考2 入札から開札までの流れ



* 図中の認証システムは省略

参考3 入札処理記号(ハッシュ値)による原本性保証

ハッシュ値事前公開による原本性保証

1. 事業者からの入札書送信時、非可逆性関数ハッシュにより入札書のハッシュ値が作成され、公証サーバに送信されます。
2. 入札書送信締切後、自治体は公証サーバから入札書のハッシュ値を取得しインターネット上で事前公開します。
3. 開札時、自治体は公証サーバから入札書を取得し、ハッシュ値を作成。事前に公開しているハッシュ値と比較表示し、開札時に使用した入札額の正当性を証明します。

※ ハッシュ値：
不可逆性の関数「ハッシュ関数」を掛けた値が「ハッシュ値」です。
ハッシュ関数は、通常の間数と異なり、生じた「ハッシュ値」から元の文章を逆算することができません。

